

予算特別委員会 (2/26～3/11)

沢田あゆみ 委員

ねずみ対策 専門業者派遣へ

沢田あゆみ委員が2024年第3回定例会の一般質問で提案した「住宅地のねずみ対策・専門家の派遣」が始まります。沢田あゆみ委員の質疑で以下の事を確認しました。

新たな「ねずみ対策」

- まずは区に電話等で相談（年間60件想定）
- 個人・町会・商店会から区に相談可能
- 敷地内に巣穴がある場合、専門業者が埋めてくれる（年間120件想定）
- ねずみの発生原因が不明の場合、専門業者が周辺地域を調査し調査報告書を作成



佐藤佳一 委員

高すぎる火葬料の引き下げを

区内の民間斎場では、火葬料が現在8万7千円。多摩地域や近隣県は、無料～1万円と比べ異常に高くなっており、引き下げる対策をするように区に求めてきました。

民間斎場が、火葬料などの一部を負担していた区民葬を4月から撤退することになり、23区の区長会は、区民葬を維持するために税金の投入を決めました。ところが、区民葬を扱えるのは葬儀屋の組合加入（加入率約25%）が条件です。加入していない葬儀屋さんから不公平との意見が出されていました。区に対して組合加入の条件を改め全ての葬儀屋さんで扱えるように求めましたが、拒否しました。



杉山直子 委員

大久保通りの混雑・ごみ問題解消を

来街者増加による大久保通り周辺の混雑やごみのポイ捨て問題について、歩道の幅を広げることや、「スマートごみ箱」の導入などを提案しました。

落合第四幼稚園の学童クラブ等への活用を

2025年度で休園となった落合第四幼稚園を、児童館や学童クラブなどに活用する事を提案し、学童クラブの質の向上のために全ての学童が東京都の認証を取得するよう求めました。あわせて、学童に配送しているお弁当の質の充実も要望しました。都の認証取得をめざす方向性は示されたものの、更に定員拡充をしなければ実現は困難です。地域の要望を引き続き議会で取り上げて行きます。



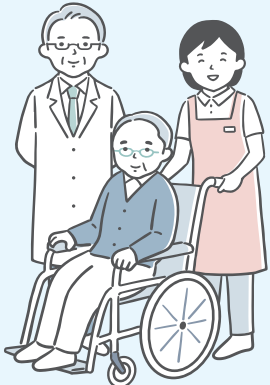
高月まな 委員

介護労働者の処遇改善を

度重なる制度改悪で、介護事業者は深刻な人手不足、倒産・廃業件数は過去最多となっています。

23区では豊島区の人材確保支援金・訪問介護支援金や、杉並区などの居住支援手当の上乗せ支援、中野区などの訪問系障害福祉人材確保支援と、大半の区が独自支援を進めています。

高月まな委員は介護福祉士として現場の声を代弁し、「介護は楽しい仕事。長く働き続けられる支援策を」と区に求めましたが、区は「国がやるべき」と拒否しました。



個人情報保護法に反する 自衛隊への個人情報提供は中止を

自民党は、自衛隊募集のための名簿提供を再三求めてきましたが、区はそれに応じる形で、18歳もしくは22歳の住所と氏名を印字した宛名シールを提供することとしたと議会で答弁がありました。

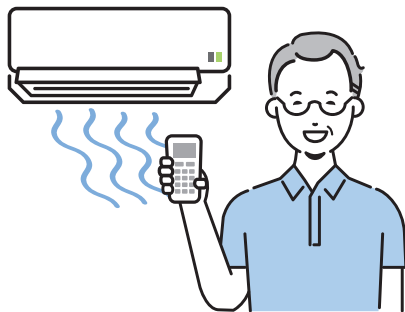
日本共産党は、事前に本人の同意なく個人情報を提供することは、個人情報保護法から逸脱していることを指摘し、反対してきました。今回も改めて中止するように求めましたが、拒否されました。但し本人が事前に申し出れば提供から除外されるとの答弁がありました。



低所得者向け

エアコン購入費補助はじまる

最大10万円 5月1日から受付開始



日本共産党がこれまで繰り返し予算修正案や条例提案等で求め続けてきた、熱中症対策としてのエアコン購入費補助がいよいよ実施されます。

助成の対象は住民税均等割非課税世帯、児童扶養手当受給世帯、生活保護受給世帯などで、まだエアコンを設置していないか、設置していても故障などで使えない世帯に最大10万円を補助します。都のゼロエミポイント（省エネ型エアコン購入で最大8万円補助）と併用して最大18万円の補助も可能です。